

【計画】5-6 気候変動による高山植生及び希少植物への影響調査

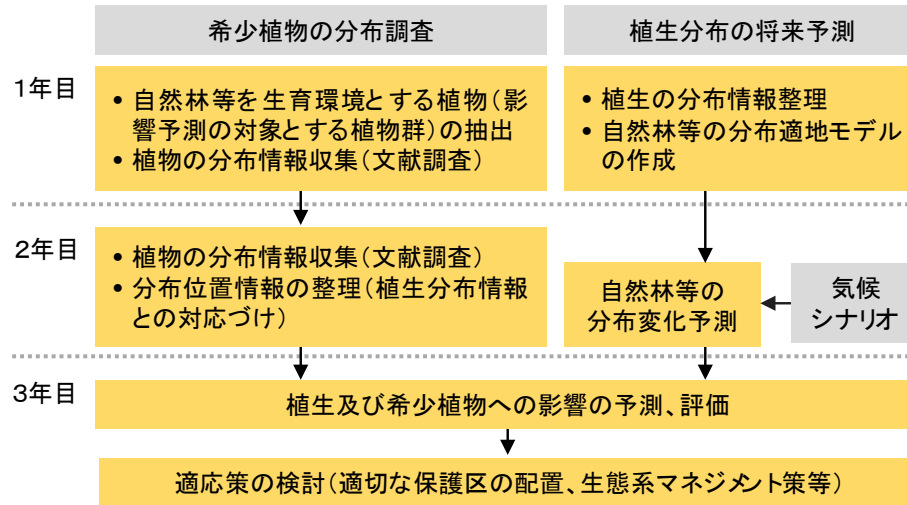
【分野: 自然生態系、対象地域: 中国四国地域全域】

地域適応コンソーシアム
中国四国地域事業

■ 目的

- 気候の温暖化は、中国山地や四国山地の上部に分布する自然林などの植生や、そこを生育環境とする希少植物の消失を引き起こし、地域の生物多様性を低下させることが懸念される。
- 中国四国地域における自然林等の分布変化を予測するとともに、その変化から自然林等を生育環境とする植物への影響を予測し、保全上重要な地域の抽出などの適応策を検討する。

■ 調査計画



■ 実施体制

(株)地域計画建築研究所
(アルパック)

- 資料収集・ヒアリング
- 植物分布情報の整理
- 植物への影響予測
- 適応策の検討

国立大学法人 高知大学
教育研究部自然科学系理学部門

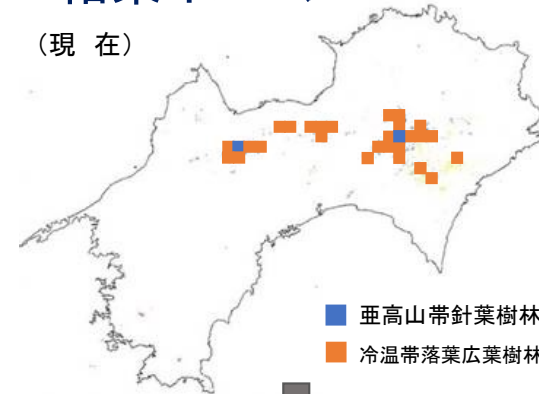
- 植生の分布予測

各県の自然史系博物館・研究機関等
(島根県立三瓶自然館、高知県立牧野植物園ほか)

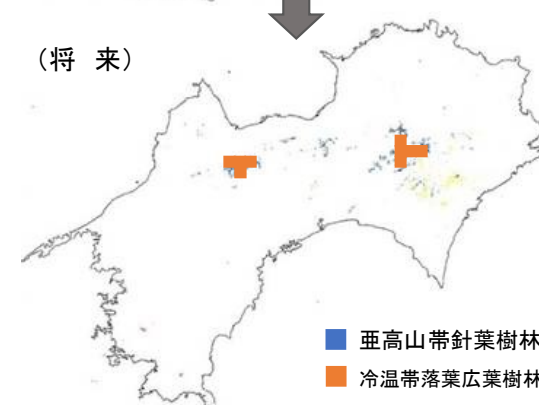
- 希少植物の分布情報収集に関する助言

■ 結果イメージ

(現在)



(将来)



自然林の分布適地の変化から、将来の希少植物の分布を予測する。

(評価の指標例)

- 自然林の分布面積
- 1kmメッシュごとの希少植物種数
- 地域全体の希少植物種数 など

(高知大学・比嘉基起氏作成の図を元に、(株)地域計画建築研究所(アルパック)で作図)